



第366号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



限りある人生



カット：本多紘子

梅雨が明ければ本格的な猛暑です。ジトジトした梅雨空は洗濯物が乾かず悩ましいが、近年の夏の酷暑も異常で辛いですね。お子様たちや高齢者は室内でも熱中症に気をつけたいな。皆様お元気ですか。

この『ともしび7月号』の原稿を書いているのは、6月18日のお昼です。朝から大雨が降り、昼過ぎには岡山県に大雨・洪水注意報が発令され、一昨年の西日本豪雨を思い出しドキドキしています。

今年には新型コロナウイルスの世界的流行感染で災禍が始まり、日本では3月から5月までが感染のピークとして不用不急の外出自粛要請や学校などの休校やお店の営業自粛などで感染が少し治まりかけており、6月から地方自治体によって自粛解除宣言をだしたのは嬉しい限りです。ある人が愚僧に、「人間の生活は不用不急のことばかりだ。人間の活動で地球の生態系が壊され、また地球温暖化で気候変動が激しく災害が多くなる」と言われ、妙に感心してしまいました。

「インド洋ダイポール現象」という気象用語を知っていますか。インド洋の東西で大きな海水温差が生じたとき、異常気象を起すそうです。昨冬はインド洋西側の国々では水害に見舞われ、東側ではカラカラ天気になりました。日本は暖冬になり、アフリカは多雨

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

でバツタが大量発生し、豪州では森林火災が広がり、大変な災害となつていますが、これも人間が起こした地球温暖化が原因です。

昨年7月の参院選で広島選挙区から初当選した河合案里議員の選挙戦を巡り、夫で衆院議員の克行前法相と案里氏が、票のとりまとめを依頼する趣旨で約2570万円の現金を地元議員ら約100人に渡した疑いが強まったとして、検察が取り調べる方針を固めました。二人とも慶応大学を卒業した優秀な方たちなので逮捕に驚いています。

鎌倉時代末から南北朝時代に活躍した吉田兼好法師は『徒然草』の中で、「過大な欲望を捨て贅沢な暮らしを避けるために、抑制が大切で、心の支柱として品性や教養が必要」と述べています。「何のために学問をするのか」というと、善行を自慢せず、朋輩と争ってはならないということを知ることが出来るから。高い官職も辞し、大きな利益も捨て得るのは、ただひとつ学問の力だけである」ともある。

つまり真の学問とは「自分を救い、人を救うため」だと。知識も多く、思考力にもすぐれていれば、目前の問題を多面的に分析し、それを現実的に解決する種々の方法も考え出せます。人の感情を酌み取りつつ、同時に冷静な対処をするために、文学的な情緒、論理的な思考、歴史的な観点、科学的な検証、芸術的な発想などなど、あらゆるジャンルの学問が周囲を柔らかく救う。人を救わない知識なら、もない方が善に近いという仏教的な考え方も大切ですね。

平安初期の伝教大師最澄は『学生式』のなかで、「国宝とは何物ぞ。宝とは道心なり。道心あるの人を名けて国宝となす」とあり、玉石は本物の宝ではなく、世の中の一隅を照らすものが国の宝であると書かれています。「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」とあります

が、コロナ禍で困っている人たちと助け合いたいものです。逢えば別れがあり、いつかは人は死ぬ。この世に永遠のものはひとつもない。限りある人生をどう極めるか。どう生きてどう死ぬか。コロナ禍で、人生を真剣に考えたいものです。合掌 (奥原 曇龍)

『コロナ禍で自己中心の生き方を 見直しながら悔いなく生きよう』 どんりゅう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・七月 六日「月曜日」 午後一時から午後四時まで。
八月二十日「木曜日」 午前十時から昼十二時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり 45

お釈迦様は、サーリプッタ(舍利弗)とモツガラナ(目犍連)の二人が遠くから来るのを見られ、弟子の比丘たちに告げて言われました。「かしこに来る二人の友はサーリプッタとモツガラナである。二人は我が弟子の双壁となり、最上の立派な兩人となるであろう」と。

やがて二人は、懷疑哲学者の師匠であったサンジャヤの弟子二百五十人とともに、お釈迦様に近づき、お釈迦様の両足に頭をつけて礼拝し、「世尊よ、われらはあなたのもとで出家して戒を受けたいと存じます」と懇願すると、お釈迦様は「まさしく苦しみを消滅するために修行を行なえ」とこれを快諾され、二人を特別な待遇として迎えています。

智慧第一のサーリプッタと神通第一のモツガラナの二人は、お釈迦様にもっとも信頼され、お釈迦様も自分の後継者と定めておられたようです。サーリプッタは母のように優しく、モツガラナは厳しい父のような存在で、仏弟子たちを指導していたが、二人はお釈迦様とあまり変わらない年齢であったので、二人ともお釈迦様より少し前の同時ごろに亡くなり、お釈迦様を落胆させています。

インドの強国であるマガダ国の首都の近くで、拜火教徒のカツサパ兄弟たちの率いる千人の弟子とサンジャヤの弟子二百五十人が、お釈迦様の仏教教団に入ったことは、お釈迦様の覚られた仏教が注目をされだします。

著名な良家の子らが、つぎつぎとお釈迦様のもとに赴いて清らかな修行を行うと、街の人たちは仏教を誤解して、いらだち、いきどおり、そして人が多くなった。「お釈迦様がやってくる、あととり息子を奪う。夫を出家させて奪う。家を断絶させる。今度はまた誰を誘うのか」といつて非難しています。

お釈迦様は、正しい生き方や考え方を実践する為の出家と答えます。合掌(奥原曇龍)

夏祭り花火もとりやめコロナ禍に 我れを見つめよと仏のともしび 田辺多恵子



6月2日(火) ともしび説法にて

ともしび法話

梅雨が明ければ、本格的な猛暑の夏が始まります。コロナ対策でマスクをつける体力を消耗します。皆様お元気ですか。夏祭りの中止が多い中で、住職はお盆参りの準備をしています。お寺での合同での盆法要は8月13・14日の午前中に本堂で予定しており、宜しくお願い申し上げます。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

今年の5月に夫の健が満77才で御浄土に旅立ちました。12年前に靱帯硬化症の難病にかかり、足が不自由となりました。ロマンチストで家庭を大切に、子や孫たちも大事にしてくれて感謝でいっぱいです。岡山市南区 木谷 信子

今年はコロナで始まり、コロナで終わるのかな。すべての行事が自粛で、中止になると寂しいな。出来ることを前向きに一步を大切に悔いなく歩みたいですね。倉敷市藤戸町天城 福原 浩子

夕涼みお寺の鐘が聞こえます

祭りなくても星空がやく 簗田れい子

ともしび説法

日時・七月 六日「月曜日」 午後一時から午後四時まで。
八月 二十日「木曜日」 午前十時から昼十二時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

九月 七日(月)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。
十月二十二日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
十一月 三日(火)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



いころの詩

そろそろ梅雨明けだ
太陽が真っ赤に燃える灼熱地獄
地球がだんだんこわれている
土も空気も水も人間が汚し
天が怒りの声をあげている
突然のコロナウイルス流行も
人間の生き方を見直させる



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 橋高様 4千円
倉敷市 大谷としこ様 5千円
倉敷市 山下裕様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「366号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健